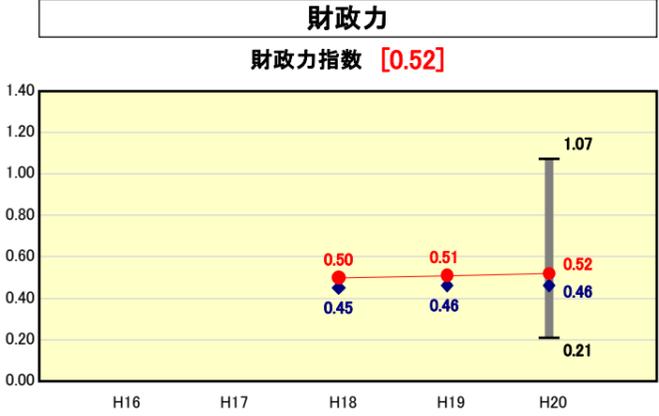


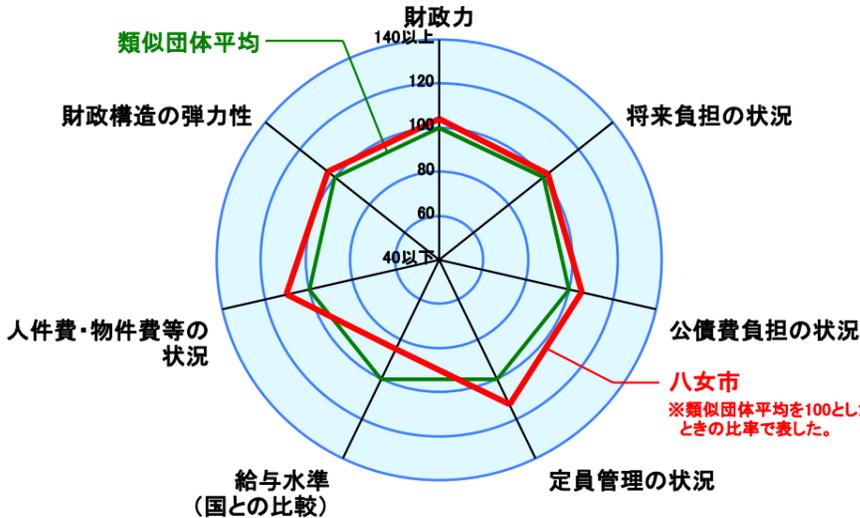
市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)



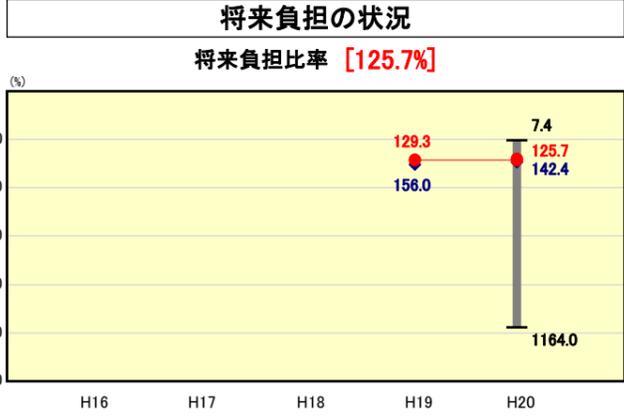
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 37/129
全国市町村平均 0.56
福岡県市町村平均 0.53

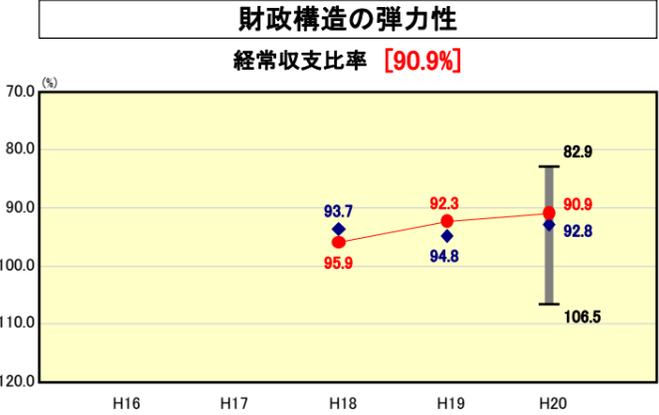
人口	42,261	人(H21.3.31現在)
面積	98.66	km ²
標準財政規模	9,857,272	千円
歳入総額	15,088,587	千円
歳出総額	14,519,894	千円
実質収支	561,792	千円



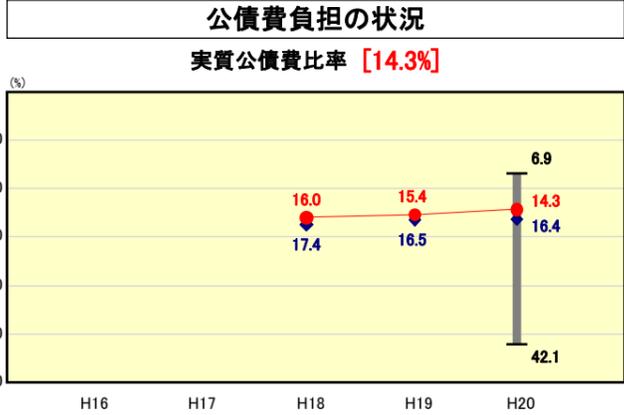
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



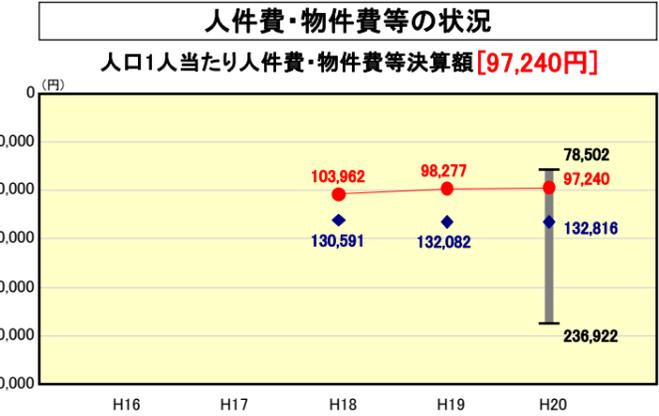
類似団体内順位 58/129
全国市町村平均 100.9
福岡県市町村平均 137.5



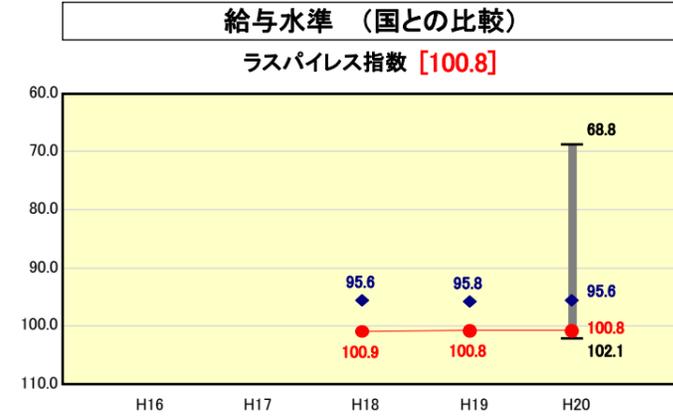
類似団体内順位 43/129
全国市町村平均 91.8
福岡県市町村平均 95.3



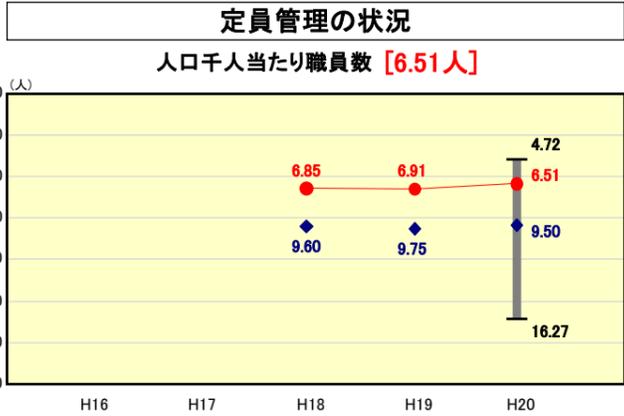
類似団体内順位 36/129
全国市町村平均 11.8
福岡県市町村平均 12.9



類似団体内順位 9/129
全国市町村平均 114,142
福岡県市町村平均 106,367



類似団体内順位 123/129
全国市平均 98.4
全国町村平均 94.6



類似団体内順位 5/129
全国市町村平均 7.46
福岡県市町村平均 6.22

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
年々人口の減少に加え、高齢化率も上昇している中で、八女市の基幹産業である農業や伝統工芸産業が厳しい状況にある。財政力指数については、前年度よりも0.1ポイント高く、類似団体の平均を上回っているが、21年度以降は2町2村との合併により0.4を下回ることが予想される。

○経常収支比率
人件費や補助金等の経常的経費の削減に努めており、類似団体の数字よりも1.9ポイント下回っている。今後は合併効果を最大限にいかし、人件費や補助費、物件費の更なる抑制に努め、財政の健全化を図る。

○ラスパイレス指数
前年度と比較して0.1ポイント低くなっているが、類似団体の数値と比較するとまだなお5.2ポイント高い状況にある。更なる給与体系の見直しを図り、より一層の給与の適正化を図る。

○将来負担比率
前年度を3.6ポイント下回っているが、依然として高い数値となっている。数値の高い主な要因は公営企業債等繰入見込み額が高いことにあるが、今後も地方債の抑制に努め、財政の健全化に努める。

○実質公債費比率
類似団体の数値よりも0.9ポイント下回っているが高い状況にはある。近年は大規模事業が少なかったことや補償金免除繰上償還を行ってきたことで、起債残高は減少してきた。これからも日頃から実質公債費比率を意識し、起債に大きく頼らない財政運営を目指す。

○人口千人当たり職員数
ここ数年の退職者不補充等により類似団体平均値よりも下回っている。今後は合併した後の新たな職員適正化計画を早急に策定し、職員の適正化を図る。

○人口1人あたり人件費・物件費等決算額
類似団体平均値を大きく下回っている要因としては、八女市では数年前から退職者不補充により人件費を削減し続けてきたことや財政の健全化を図るために主に物件費を抑制してきたことが挙げられる。21年度以降は2町2村との合併により一時的に高くなるのが予想されるが、今後はこれまでの八女市と同じ規模の行財政改革を図っていく。